

## 平成29年度第2回学校評議員会記録

1 日 時 平成30年2月9日（金）13：30～14：35

2 場 所 応接室

3 出席者 竹村祥子 評議員、 早坂 将 評議員、 神部伸也 評議員  
佐藤一義 校長、 高橋良一 副校長、 藤田幸一 事務長、  
佐藤浩之 教務主任、 三浦 穰 生徒指導主事、 及川 満 進路指導主事、  
葛西 崇 総務主任、 久保 幸 総務課担当

### 4 内 容

#### (1) 開会

#### (2) 校長挨拶

- ・年度末に差し掛かかっているが、これまで大きな問題もなく生徒は頑張っている。
- ・部活動では、体操部や水泳部、写真部が全国大会に出場した。来年度は書道部の全国大会出場が決まっている。学業面については、センター試験が終わり、二次試験に向け追い込んでいるところ。健闘を期待したい。
- ・来年度へ向けて改善を図っていきたいので、忌憚のないご意見をいただきたい。

#### (3) 本年度の主な取組、成果と課題について

##### ア 秩序ある生活態度の育成安全教育の徹底

###### (生徒指導主事)

- ・自転車事故が多いことから、LHRで自転車事故の原因と対策について話し合い、意識の高揚を図った。

###### (学校評議員)

- ・町内会で交通指導をしていると、本校生徒がスピードを出して走行している姿を見かけるので、交通安全指導は大事だと感じている。近年は対人事故も増え、自転車側が加害者になり賠償問題に発展する事例が出てきている。自転車側が加害者になり得るという認識を持つよう指導を強めてほしい。また、交通マナーについての指導もお願いできればと思う。

###### (学校評議員)

- ・スクールソーシャルワーカーはどんなことをやってくれ、どこから派遣されるのか知りたい。

###### (副校長)

- ・昨今は家庭の養育の問題や経済的環境などが密接に絡んでいる場合があるので、今年度は教員向けの研修を行い、スクールソーシャルワーカーはどういう存在か、どのようにして学校の問題をつないでいくかという基礎的な話をしていただいた。市町村の福祉部署や社会福祉協議会と連携する事例が多い。

##### イ 主体的学習態度の育成と学力向上の推進

###### (教務主任)

- ・家庭学習時間は例年2年生が減る傾向があるが、今年度は頑張っているようだ。しかし、どの学年も目標の「学年＋1時間」には至っていない。今後はこの調査結果を年度比較できるようにしていきたい。

## ウ 学習指導内容の精選と指導法の工夫・改善

### (学校評議員)

- ・アクティブラーニングの授業は実際に行っているか。どのような授業か。どの教科で行っているか。県全体での取り組みか。

### (教務主任)

- ・すべての授業をアクティブラーニングにするわけにはいかないが、生徒同士の話し合いを授業に取り入れるなど、各教科でアクティブラーニングの視点を取り入れた授業改善に取り組んでいる。
- ・昨年度は、民間の外部研修に校長をはじめ多くの教員が参加した。今年度は教育センターから講師を招いて校内研修会を実施した。

## エ 自己実現を見据えた進路指導の充実

### (進路指導主事)

- ・進路指導に対する満足度が80%以上であることと、国公立大学合格者130名という2つの数値目標を掲げた。満足度は達成されている。今年度センター試験の結果は少し厳し目だったが、二次試験に向けて必死に頑張っているところ。
- ・今年度の傾向としては、教員が大学訪問して生徒に他県の様子を知らせた結果、県外の大学を受験する生徒が例年より増えている。

## オ 部活動の振興と生徒会活動の活性化

### (生徒指導主事)

- ・生徒はまじめに取り組み、運動部・文化部ともに成果を上げている。今年度からアンケートを取り、部活動に対する満足度の調査を行った。生徒の満足度は高いという結果が出ている。
- ・学級減に伴い部活動の統廃合を進めていかなければならないが、本校には廃部規定がないので、どのようなルールにするか現在検討中である。

### (学校評議員)

- ・部の統廃合については、中学生の進路に関わってくるので、早めに（できれば実施する2年前には）教えてもらいたい。中学校でも統廃合を進めるにあたり、小学校5年生まで調査を入れ、生徒にできるだけ影響が及ばないように進めようと模索しているところ。

## カ 家庭・地域との連携と地域に開かれ、信頼される学校づくりの推進

### (総務主任)

- ・PTA総会の保護者参加数については目標を達成できなかった。来年度は文化講演会を同時開催し、多くの方に来ていただけるようにしたいと考えている。

### (学校評議員)

- ・母親委員会はPTAとは別のものか。父親委員会はないのか。北高だけの問題ではないが、母親委員会という名前があると、お父さん方は参加しづらいのではないかと。父親も参加しやすいように名称を変えるというのも一つではないかと思う。

### (総務主任)

- ・母親委員会は県高P連で設定しているPTA組織の一つである。父親委員会はない。昔はPTA役員は父親が務めることが多かったので、母親同士が交流する場として設けられたものではないだろうか。

## キ 「チーム盛北」としての組織対応とコンプライアンス意識の醸成

### (副校長)

- ・次年度の改善を進めるために、中間反省会で出された課題について年度内に検討し、年度末反省会で具体的な手立てを提示している。

#### **(4) 平成29年度学校評価アンケートの結果について (副校長)**

- ・今年度は、他校を参考にしながら質問内容を整理した。結果については資料の通り。

#### **(5) 意見聴取**

- 今年度も充実した学校生活が進んでいたのだなということを感じた。
- 新テストの対応が本格化していると感じた。大学でも新テストに付随して試験の制度や求めるものについて検討が進み、少しずつ変わってきている。大学に問い合わせれば、その点についての話を聞くことができるのではないかな。
- 高校で取り組まれていることが、中学校でやっていることを継承し発展させたものであるということを感じ、安心した。中学校でも自尊感情を高めるような取り組みを行っており、また、スクールソーシャルワーカーにはケース会議の中で活躍してもらっている。アクティブラーニングについては、「学び合い学習」と呼び、協力して一つのものを作り上げるような場面を授業に取り入れようという試みを行っている。
- 全体を通して、文武両道で頑張っているのだなと感じた。
- 学校の魅力についてのアンケート評価が低かったが、このことが同窓会活動に参加する人が少ないことと関係しているのかなと、寂しい感じがした。しかし、本校出身の方々には活躍している人も多いので、今後も世界に通じる人材が生まれてくれれば良いと思う。岩手は他県に人材が流れる傾向にある。生徒には岩手・盛岡にもすばらしい企業があるということを知ってもらい、郷里で活躍してほしいと願っている。

#### **(6) その他**

- ・稲荷場評議員には3年間お世話になった。今回で退任される。竹村評議員、早坂評議員、神部評議員には来年度も継続してお引き受けいただきたい。本日はありがとうございました。

#### **(7) 閉会**